

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立大島公園海のふるさと村	大島町	大島町	3年 (平成27年度～ 平成29年度)	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進む中でおおむね維持管理は適切に行われ、トイレの汚れも見回り清掃により清潔な状態を保てるようになった。 施設内の照明のLED化など、快適な環境づくりのための整備も行った。 ベンチの補修やキャンプ場のフリーテントサイトでの修理改善を自前で行い、経費削減に努めている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルや、入浴時間・消灯時間の延長など、利用者のニーズを反映した改善を行い、顧客満足度を上げる前向きな取組が行われた。その結果、満足度向上や集客数アップにつながったことは評価に値する。 接遇の向上や職員同士の情報を共有できる仕組みを導入している。 H28年から始めた「島内高齢者日帰り教室」は、島内の高齢者の方々との距離を近づけることに貢献している。 利用者数が大きく伸びている点は評価できるが、その伸びがどのような事業努力によるものなのか、要因をしっかりと分析し、より利用客の目線からの施策に生かしていくことが必要。
東京都小笠原ビジターセンター	小笠原村	公益財団法人 東京都 公園協会	7年 (平成28年度～ 平成34年度)	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性を確保し、施設の維持管理はおおむね計画どおり実施されている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な広報活動により、利用者が増加している。 地域の公的・民間セクターと上手く連携している点が評価できる。 ホワイトボード等を用いて外国人・障害者・健常者への説明を行う利用しやすい環境作りに取り組んでいる。 地元住民に対して企画展示や講演会を行うなど、地元住民を意識した活動を行い、それを閑散期の集客にもつなげる工夫がみられる。 職員が上級救命認定を受けるなどし、事故を未然に防ぐ体制が評価できる。 展示や講演のみならず、小笠原ならではの自然や風習にフォーカスしたプログラムも考案してほしい。(特に体験を意識したプログラム)

平成 29 年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立小峰公園	あきる野市	公益財団法人 東京都公園協会	5年 (平成 25 年度～平成 29 年度)	S	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや地域とのあり方について試行錯誤しながらも良好な関係を築いている点が評価できる。 ・選択的除草マニュアルの作成などきめ細かな管理により、生物多様性や希少種の保全に貢献している。 ・園内の新たな解説資源を見つけ、解説サインを新規に設置していくことで、利用者に園内散策の楽しさを提供している。 ・常勤・非常勤の区別なくスタッフの意思疎通が図れる体制が確立している。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況をしっかりと把握し、その要因の分析や打開方策についても検討されている。多彩なプログラム展開が工夫され、課題であった地域の歴史や文化に関わるプログラムも開発されている点が評価される。 ・既存の体験プログラムを少人数で運営しながら、そのうえ住民や他団体との連携により、新たなプログラムにチャレンジしている点は評価できる。 ・アンケート台や協力を呼びかける掲示物をリニューアルすることで、アンケートの回収数を大幅に伸ばすことに成功した。 ・生活介護施設や小学校の特別支援学級等を対象としたオーダーメイド自然教室も数多く開催することで、多様な対象者へのプログラム提供に成功している。 ・季節に合わせた散策コースの提案や、サインポストの番号からそこで見られる植物がわかるコーナーを設けるなど、新たなセルフガイドシステムを導入し、利便性が更に向上するなど質の高いサービス提供に努めた。
東京都奥多摩ビジターセンター	奥多摩町	公益財団法人 東京都公園協会	5年 (平成 27 年度～平成 31 年度)	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理状況は良好で施設の維持管理はおおむね計画どおりに実施されている。 ・イベント時に開館時間を延長するなど、利用者の立場に立った運営がなされている。 ・年々増加している外国人観光客への対応もできている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なツールを活用し、実踏調査をさらに多くの回数実施することでデータを更新し、利用者のレベルに応じたきめ細かな注意喚起をするなど、広範な奥多摩地域をカバーした登山の安全性の確保に留意している。また、公開講座は初心者から上級者まで、幅広い利用者層から高評価を受けた。 ・館内では“奥多摩の達人”を紹介する展示を始めたほか、新設した地域情報発信コーナーでは雲取山や奥多摩の暮らしをテーマとした写真展を行うなど、「奥多摩の地域と結びついた展示」を意識して導入している。 ・町民向けツアーを実施することで、参加者が地域の魅力について理解を深め、環境保全意識の向上を働きかける取組を導入した。 ・登山用品店や、都心でのイベントの出店、JR 駅貼りポスターなど、情報発信への取組も、積極的に行った。

平成 29 年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立多幸湾公園	神津島村	神津島村	3年 (平成 27 年度～ 平成 29 年度)	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍋・食器類等は、除菌処理がなされて貸出しされているが、見た目もきわめて清潔な状態に管理されている。 毛虫対策、雑草対策、冬季の湯たんぼの貸出しなど、きめ細やかな対策がとられているほか、新たに扇風機設置、ファイヤーサークルでの水道設置など、絶え間ない施設改善に取り組んでいる。 スタッフ同士のコミュニケーションやホスピタリティに関する意識の統一がなされており、宿泊者への声掛けが浸透している。それを通して把握できた情報を、リスク管理やサービス向上に生かしている点が優れている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「神の島」「星空」など、神津島ならではの地域資源を活用したプログラムをコツコツと増やし、ブランド化への取組がなされている。 宿泊者の要望に応じて売店の品揃えがなされているほか、要望に沿って予約や島内の商店から配達するなど、宿泊者の目線でニーズのあるものを販売する仕組みが確立されている。 島外対象の自然教室では、阿波命神社に参拝する儀式などを導入し、島内の小学生を対象とする自然教室では地域に根ざした昔からの伝統を子どもたちに伝えるなど、神津島でしか味わえない・出来ない体験を提供している。
東京都檜原都民の森	檜原村	檜原村	3年 (平成 27 年度～ 平成 29 年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性を確保し、管理状況は良好で、施設の維持管理はおおむね計画どおりに実施されている。 シルバー人材センターを活用し、清掃面での向上を図った。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花の咲き具合など旬の情報を適切に提供すれば利用者にとっても利便性が向上する。 ツリーライティングなどの新たな魅力を創出した自然体験プログラムへのチャレンジや、オフ期の対策に、一定の集客効果を感じられる。 フェイスブックの更新を頻繁に実施している点も評価に値する。 都内のイベントにおいて施設で作成した木工品を展示配布するなど、施設の PR、情報発信に努めた。 東京の山間部として、地域の生活文化や江戸や東京との関わりの歴史に関する情報を提供すること、また、関連諸施設と連携して地域への宿泊利用を促すプログラムの企画・開発を進めていく必要がある。

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立奥多摩湖畔公園山のふるさと村	奥多摩町	奥多摩町	3年 (平成27年度～ 平成29年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性を確保し、管理状況は良好で、施設の維持管理はおおむね計画どおりに実施されている。 ・屋外の階段やケビンのデッキなど、順次修繕を進めている。安全面の視点から、引き続き修繕が必要な箇所を点検し、修繕を進めてほしい。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の祭りにおいて、地域伝統芸能を来園者に披露したり、地元漁協、地元物産店などと連携し、またイベント時の指導員として、専門知識と技術をもった地元住民を活用するなど、地域振興に貢献している。 ・地元の素材を活用しアピールすれば、関係団体との連携も進み、奥多摩の魅力をPRする手段ともなり、利用者には奥多摩の手作り記念品を持ち帰れることになる。付加価値をつけるプログラムの可能性を引き続き検討してほしい。 ・従来どおりのことを従来どおりのやり方で実施している感が否めない。利用者数の減少を挽回する取組を検討してほしい。 ・数多くのプログラムを長期的に継続してきた実績は認められるものの、各々のプログラムの評価、再構成に関する検討を更に深め、参加者の志向動向や費用対効果の分析を通して、より効果的な活動展開を進めていく必要がある。 ・イベントでの飲食物販の内容も地元で話題の新たな食材、料理なども取り入れることが望ましい。
東京都奥多摩都民の森	奥多摩町	奥多摩町	3年 (平成27年度～ 平成29年度)	A+	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて数多くのプログラムを展開しているにもかかわらず、安全性を重視し、無事故運営日数を継続中であることは、リスクマネジメントに留意していることの証左として評価できる。 ・施設の維持管理はおおむね計画どおりに行われている他、木材チップ機の導入を通して、森林管理と環境・景観整備とを循環的に結びつけた。 ・参加者の保険の見直しなども行った。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携促進、情報発信の工夫、新規のプログラム企画など、利用促進に向けた様々な努力が認められる点が評価される。 ・地元農家を巻き込み、地元の食材をいかした新作メニューコンペの実施などメニュー開発・食の魅力向上に積極的に取り組んだ。 ・地元出身の教授の講演や地元在住の講師による山里体験などを推進していることは、閑散期の利用促進のみならず地域との連携という意味でも評価できる。 ・年間を通してプログラムを展開し、参加者の満足度も高い。特に冬期もある程度の参加者を集めることに成功している。 ・専門学校やゼミ合宿での利用促進のために営業を実施。その他、障害者の受け入れを整備するなど、集客拡大への積極的な取組がうかがえ、新たな客層を獲得しており伸びしろを感じられる。